

Project Name

障がい者の青年期を考えよう inいちご一会

障がい者の豊かな生活をめざして

障がい者は、高等部卒業後に就労することが一般的となっていて、社会生活スキルやコミュニケーションスキルを学ぶ機会が少ないまま社会に出ることが多い現状があります。しかし、青年期に様々な経験や体験をすることは、豊かな生活を送るための貴重な時間となり得ます。そこで私たちは、青年期の学びの場づくりに先駆的に取り組んでいる方、日本で初となる福祉事業を利用した学ぶ作業所(専攻科)を立ちあげた保護者の方と現場のスタッフを講師に招き、青年期の学びについて考えるきっかけ作りのための講演を開催しました。今後も障がい者の豊かな生活について考えていきたいと思っています。

誰もが気軽に足を運べる居場所づくり

いちご一会は、障がいの有無にかかわらず地域で生きづらさを抱えている人たちが気軽に立ち寄り、交流できるサロン活動を行っています。サロンでゆっくりマイペースに時間を過ごす中で、自信を取り戻し、より豊かな生活や自立した生活を送り、社会に羽ばたいていってほしいと願い、またそのような居場所(サロン)であり続けたいと考えています。



左から順に：チラシ／青年期教育のあり方／専攻科の実践／観の熱い思い

Group Name

特定非営利活動法人 いちご一会

「障がい者も高齢者も、イキイキ安心して暮らせる居場所づくり」を目指して、誰もが交流できるサロン活動や、障がい者の就労の場である就労継続支援B型の事業に取り組んでいます。また、真備町店舗で特産のたけのこを使用した商品を開発し、販売を行っています。

【お問合せ】Tel&Fax・・・086-697-5512 ブログ・・・<http://clabo-2012.seesaa.net/category/14870732-1.html>



事業概要

事業の目的

障がい者の支援学校高等部卒業後の進路は「働く」ことが一般的になっています。県外では、高等部卒業後の進路の一つに福祉事業を利用した「専攻科」や「学ぶ作業所」と言った青年期の「学びの場」づくりが広がっており、障がい者の青年期の学びについて考えていきたいと思っています。

活動内容

市民活動提案事業で、パソコン教室や料理教室、園芸、手芸などの各種教室を開催し、地域住民を講師に招き、地域の方々との交流を図ってきました。

団体からのメッセージ

気軽にお茶を飲みながら、みんなで語り合えるメンバーを募集しています。

私たちが大切にしていること・・・地域住民とのつながりをもつ機会をつくり、誰もが居心地よく過ごせる居場所づくり。

この活動を通して得たもの・・・支援学校高等部卒業後の進路について、選択肢を増やしていくことの必要性の声を多く聞くようになり、このことをより多くの方々に知っていただきたいと思うようになりました。

